

ニューソフィア

New Sophia

74号

[vol.20-2]

福岡歯科大学は「口腔医学」を推進しています



Seasonal Topics

福岡歯科大学、福岡医療短期大学

平成24年度入学式

2

新入生研修会を実施

3

Featuring News

「口腔医学シンポジウム」および

「連携大学学長・学部長会議」を開催

4

平成23年度卒業式・修了式

5

College News & People

再生医学研究センターシンポジウムほか

6

新任教授・准教授等紹介

7

Event

歯科医師臨床研修がスタート

8

福岡医療短期大学父兄後援会長改選

8

平成24年度学友会総務委員長決定

8

From The Alumni Association

同窓会だより

9

Hi! From Clinic

粉歯科医院〈福岡県福岡市〉

10

岡歯科医院〈長崎県大村市〉

10

Message From Students & Parents

学生と保護者様からのメッセージ

11

Information

平成25年度入試日程

12

オープンキャンパス開催のお知らせ

12

入学式

福岡歯科大学、福岡医療短期大学 平成24年度入学式

福岡歯科大学

夢と希望を持って、

福岡歯科大学へ



式辞を述べる
北村憲司大学長

福 岡歯科大学歯学部・大学院の平成24年度入学式は4月6日、来賓ならびに家族の列席のもと福岡歯科大学本館講堂で挙行されました。

緊張の面持ちで式に参加した95人の新入生に向けて北村憲司大学長は、「医学、医療に興味を持ち、本学で歯科医師を目指す決心をされ、今日の入学式を迎えられた新入生の皆さんの決断に、心から敬意を表します。歯科医療は単に、歯の病気を治すために必要なので



樋口いづほさんによる宣誓

はなく、歯や口腔によってもたらされる豊かな表現、社会活動を円滑に行うために必要なものです。次代の国民の健康を守ることを、常に念頭に置き、『口腔医学』による二十一世紀の歯科医学を、意欲を持って学んでください。福岡歯科大学での学びの中に、新しい歯科医学の息吹を感じ、それを自己のものとしてくださることを、強く期待致します。」と述べました。

11人の大学院入学生に対して、「歯科医学が医学の一分野として、広く社会の理解を得るためには、歯科医学を研究する、皆さんの創造性と、哲学性にかかっています。世界を視野においた質の高い研究を、それぞれの専攻領域の中で実践し、臨床の中に真理を発見する『洞察』力を持った歯科医師」としての、豊かな可能性を福岡歯科大学での研究で育んでください。」と式辞で述べました。



新入生への校歌紹介で斉唱するグリークラブのメンバー

福岡医療短期大学

新しい気持ちでスタート、

福岡医療短期大学



式辞を述べる
栢豪洋短大学長

福 岡医療短期大学の平成24年度入学式は、キャンパスに桜が咲き誇る4月5日、本館講堂で執り行われました。式辞の中で栢豪洋短大学長は「本学は、他大学にはない特色として、キャンパス内に介護老人保健施設と特別養護老人ホームを設置しており、そこで介護のできる歯科衛生士、口腔ケアもできる介護福祉士の養成に力を注いでいます。将来、皆さんは、知識や技術の習得だけでなく、口腔ケアの必要な患

者さんや介護の必要なお年寄りに優しい心で接して支えることができる歯科衛生士や介護福祉士になつていただきたい。また専攻科に入学の皆さんは、口腔保健学を学び、これから更に口腔ケアの高度な知識や技術を身につけて、日本の歯科衛生士のレベルを更に引上げていただきたい。」と述べ、希望に胸をふくらませた146人（歯科衛生学科93人、保健福祉学科33人、専攻科20人）の新入生にエールを送りました。



歯科衛生学科 松本萌さんによる宣誓



保健福祉学科 新谷仁美さんによる宣誓

新入生
研修会

2日間にわたって新入生研修会を実施

福岡歯科大学 新入生研修会

4月13日、14日の2日間、平成24年度新入生研修会が国立阿蘇青少年交流の家で実施され、理事長と大学長による講話、メンタルヘルスや大学生生活の哲学に関する講義、阿蘇登山や熊本大慈禅寺での座禅体験などが行われるなか、新入生は助言教員との親睦を深めることができました。これからの6年間、学業や学生生活を共に過ごす仲間たちとともに有意義なスタートが切れたことでしょう。



保健福祉学科

4月6日、7日の2日間、平成24年度新入生研修会が国立阿蘇青少年交流の家で行われ、歯科衛生学科と保健福祉学科は、それぞれに大観峰、



歯科衛生学科

阿蘇火口見学やレクリエーション活動で新入生と上級生、教員との親睦を深めました。



口腔医学シンポジウム

戦略的大学連携事業
「口腔医学シンポジウム」および
「連携大学学長・学部長会議」を
開催しました。

1 月22日横浜市の鶴見大学会館において口腔医学シンポジウム「口腔の病気と全身の健康〜口腔医学の展開〜」を開催しました。

近年注目が高まってきた口の病気と全身の健康との関連について、連携大学の専門の先生方が最新の知見を紹介し、からだの健康を守る口腔医療とは何か、口腔医学は今後どのように展開していくのかについて討論を行いました。

当日は多数の方にご来場いただき、口腔医学に対する関心の高さが感じられました。



連携大学学長・学部長および、実施担当者合同会議

また会議に先駆けて「第7回連携大学学長・学部長会議および戦略連携事業実施担当者会議合同会議」を同会館の会議室にて開催しました。会議では平成23年度の事業報告および平成24年度の事業計画の協議等が行われ、今後の大学連携事業の取り組みについて議論を行いました。



北村憲司大学長による基調講演



講演者との討論

口腔医学シンポジウム 口腔の病気と全身の健康 ～口腔医学の展開～

■日時:平成24年1月22日(日) 13:00～17:30 ■場所:鶴見大学会館 地下1階 メインホール

- 基調講演「口腔医学の目指すもの」 福岡歯科大学長 北村 憲司
- 「高齢者大規模追跡調査から見えてきた口腔が全身の健康に果たす役割」 神奈川歯科大学歯科医療社会学分野 准教授 山本 龍生
- 「大学専門診療科における口腔機能リハビリテーションの展開 一癌専門病院、医学部病院との連携ならびに歯学部における摂食・嚥下教育を含め～」 昭和大学歯学部口腔リハビリテーション医学講座 教授 高橋 浩二
- 「わが国の歯科医学・歯科医療の現状と口腔内科設立の意義 ～国民のために口腔内科ができること～」 鶴見大学歯学部口腔内科学講座 教授 里村 一人
- 「口腔医学の展開を見据えたカリキュラムの再編成」 福岡歯科大学細胞生理学分野 教授 岡部 幸司
- 討論 モデレーター 神奈川歯科大学顎顔面外科学分野 教授 久保田 英朗

Q-conference2011でポスター発表

2 月18日、九州大学箱崎キャンパス創立50周年記念講堂においてQ-Links主催のQ-conference2011(活動報告会)が開催されました。本学もポスターセッションで参加し、「口腔医学プロジェクトの活動状況」についてPRしました。



国家試験結果

第21回 歯科衛生士国家試験 **合格率100%**

3 月28日、厚生労働省から第21回歯科衛生士国家試験の結果が発表されました。福岡医療短期大学・歯科衛生学科からは卒業生62人(既卒者0人)が受験し、合格者は62人、合格率は100%でした。ちなみに全国の合格率は95.8%でした。

昨年度は、国家試験対策として、国試問題集の出題範囲を限定した演習試験を15回実施し、各回の成績不振者(約20名)に対して、水曜・金曜日の放課後と土曜日に補習を行いました。また、演習ならびに模擬試験の成績不振者には冬期休暇中はもとより、国家試験直前まで特訓補習を実施しました。これらの努力の成果と思います。

第105回 歯科医師国家試験

3 月19日、厚生労働省から第105回歯科医師国家試験の結果が発表されました。全国の受験者3,326人中、合格者は2,364人、合格率は71.1%でした。福岡歯科大学からは新卒者95人及び既卒者41人、計136人が受験し、91人が合格しました。合格率は新卒で72.6%、既卒と合わせて66.9%と不本意な結果となりました。在学生の皆さん、再挑戦の皆さんの奮起を期待します。

平成23年度卒業式・修了式

第34回歯学部卒業式 第24回大学院修了式

福 岡歯科大学の第34回歯学部卒業式並びに第24回大学院修了式が、3月17日午前10時から本館講堂で執り行われ、北村憲司大学長より歯学部卒業生95人に卒業証書・学位記が手渡され、大学院修了生9人には歯学博士の学位記が授与されました。



北村憲司大学長より卒業証書を授与される卒業生



答辞を述べる、卒業生代表の橋本麻利江さん



大学院修了生

表彰者

学業成績最優秀者

〈理事長賞〉榎坂 佳子

〈学長賞〉高野 愛子、河村 麻理

校友会功労者

橋本 麻利江、野口 秀臣、

柳本 慎太郎

学位論文紹介

甲 第225号 榎尾 陽介	Salivary β -galactosidase activity affects physiological oral malodour
甲 第226号 川口 智弘	Effect of surface preparation on the bond strength of heat-polymerized denture base resin to commercially pure titanium and cobalt-chromium alloy
甲 第227号 酒井 亜希子	Preparation of Sr-containing carbonate apatite as a bone substitute and its properties
甲 第228号 中富 佑香	EMILIN-1 regulates the amount of oxytalan fiber formation in periodontal ligaments in vitro
甲 第229号 今泉 友里	Immunohistochemical Examination for the Distribution of Podoplanin-Expressing Cells in Developing Mouse Molar Tooth Germs
甲 第230号 天野 郁子	Expression of Podoplanin and Classical Cadherins in Salivary Gland Epithelial Cells of Klotho-Deficient Mice
甲 第231号 野田 雄也	Immunohistochemical Examination on the Distribution of Cells Expressed Lymphatic Endothelial Marker Podoplanin and LYVE-1 in the Mouse Tongue Tissue
甲 第232号 根本 哲臣	Differential induction of collagens by mechanical stress in human periodontal ligament cells
甲 第233号 岡本 愛彦	Blockade of TRPM8 activity reduces the invasion potential of oral squamous carcinoma cell lines

【学位授与日:平成24年3月17日】

乙 第83号 新田 悟	ジルコニアコーピングのカラーの高さが前装陶材の破折強度に及ぼす影響
----------------	-----------------------------------

【学位授与日:平成24年3月30日】



栢豪洋短大学長より卒業証書を授与される卒業生

学業成績優秀による表彰者

歯科衛生学科

〈理事長賞〉福原 一世

〈短大学長賞〉坂本 由里子、青山 理恵

保健福祉学科

〈理事長賞〉天本 美奈子

専攻科学位取得者

有吉 綾華

伊藤 優里衣

宇治野 真緒

有働 聖菜

香月 亜理沙

亀迫 恵理佳

隈本 真代

黒田 美和子

執行 美里

高江洲 由香

富 レイラ

藤浦 有希

村石 絵吏

**第14回福岡医療短期大学卒業式
第13回福岡医療短期大学専攻科修了式**

福 岡医療短期大学の第14回卒業式が3月13日午前10時から福岡歯科大学本館講堂で執り行われ、歯科衛生学科62人、保健福祉学科30人の卒業生に対し栢豪洋短大学長より卒業証書が授与されました。また、専攻科口腔保健衛生学専攻の13人には、修了証書が授与されたほか、独立行政法人大学評価・学位授与機構の定める学修成果・試験の審査に合格し、「学士（口腔保健学）」の学位記も併せて授与されました。



答辞を述べる、卒業生代表の歯科衛生学科 青山 理恵さん

保健福祉学科卒業生から東日本大震災義援金として、76,950円の寄付申し出があり、福岡医療短期大学を通じて日本赤十字社に寄付しました。

イベント にこにこウォーキング&ジョギング2012を開催

4月8日、地下鉄七隈線沿線三大学連絡協議会主催の「にこにこウォーキング&ジョギング2012」が開催されました。このイベントは中村学園大学、福岡大学、本学の三大学が、スポーツ、医療、栄養という分野の専門性を活かし、地域の健康づくりや疾病予防等を通じて地域社会に貢献することを目的に開催されました。

当日は、本学体育館において北村大学長の開会挨拶が行われ、福岡大学スポーツ科学部の田中宏暁教授の講演の後、医科歯科総合病院外来駐車場へ移動しスタート。福岡大学を経由して中村学園大学をゴールとする全長約7kmのコースを一般市民の方、約300名がウォーキングやジョギング等それぞれのペースで楽しみながら参加しました。



国際交流 キョンヒ 慶熙大学の学生訪問団来学

韓国・慶熙大学の学生訪問団が、1月29日から2月4日までの7日間、本学を訪れました。本学との学生相互交流は、2007年から隔年で行われ今年で3回目になります。今年の訪問団は、Choi, Kyoung Kyu教授を団長に、Kwon, Il Guen教授、2年生4人の計6人が来学されました。4人の学生は、医科歯科総合病院で臨床研修を行うとともに、基礎系講義を受講した他、開院したばかりの口腔医療センターを見学し、最新設備等を興味深く視察していました。

昨年10月に慶熙大学を訪れた本学学生は、再会を喜び、時間の許す限り慶熙大学の学生と行動を共にし、交流を深めていました。

今まで隔年で行っていたこの交流は、今後、毎年相互交流となり、今まで以上に学生間の交流が深まることが期待されます。



対面式



慶熙大学の学生による根管形成の実習

シンポジウム 再生医学研究センターシンポジウム

1月26日、平成23年度第2回再生医学研究センターシンポジウム(大学院特別講義)を本館5階504講義室において、開催しました。松家センター長、田中理事長の挨拶の後、河田俊嗣准教授(広島大学)、大和雅之教授(東京女子医科大学)が講演されました。参加した大学院生、教職員は再生医療の最新の研究成果に熱心に耳を傾けていました。演題は以下のとおりです。

演題 「歯の銀行と再生医療から口腔医学へ」 河田 俊嗣(広島大学医歯薬学総合研究科 准教授)
 「再生医療本格化のための細胞シート工学」 大和雅之(東京女子医科大学先端生命医学研究所 教授)



河田准教授



大和教授

フォーラム 歯科医師キャリア形成フォーラム

2月9日に歯科医師キャリア形成フォーラムの一環としてフォーラムI「国際化時代の中での歯科医師キャリア形成」が、本館5階504講義室において行われました。このフォーラムは、近年の国際化社会の中で歯科医師キャリアをどのように獲得・形成していくかを学生に考えてもらうため企画されたもので、学生たちは普段聞くことのできない海外の歯科事情についての講演に熱心に耳を傾けていました。講演内容は下記のとおりです。

また、2月16日にはフォーラムII「臨床実地体験・発表会」が、本館5階504講義室において行われました。臨床実地体験は学生が早い時期から地域の医療現場を体験することにより、歯科医師としての将来像を自ら積極的に描けるように行われました。今回の臨床実地体験発表会では12班のメンバーによる発表があり、学生自らが体験した情報の共有を図りました。

講演内容 「中国の歯科診療の事情紹介、日本との違い」 徐 健安(上海博多歯科医院 院長)
 「米国での卒後研修」 土屋 嘉都彦(土屋デンタルクリニック勤務・有床義歯学分野 臨床教授)
 「フィンランドでの研究留学」 川口 智弘(福岡歯科大学 有床義歯学分野 大学院生)
 「ミャンマーでの医療支援活動」 野上 堅太郎(福岡歯科大学 麻酔管理学分野 講師) / 福沢 秀昭(福岡歯科大学 口腔腫瘍学分野 助教)



徐 院長の講演



臨床実地体験の発表会

定年退職を迎えて

生体工学
分野講師 **岡本 佳三**



福岡歯科大学開学の翌年昭和49年に歯科理工学教室(現:生体工学分野)に助手として赴任して38年間、歯科医学教育に関われたことに感謝します。在任中は学生教育と歯科材料の開発に専念し、国内特許21件、国際特許12件を獲得し充実した38年間でした。

短大歯科衛生学科長の選任

ひろせ たけひさ
廣瀬 武尚教授を選任



福岡医療短期大学歯科衛生学科長に廣瀬武尚教授が選任されました。なお、任期は平成24年4月1日から27年3月31日までです。

新任教員

かじい たかし
矯正歯科学分野 准教授 **梶井 貴史**



《略歴》北海道大学歯学部卒。同大学大学院歯学研究科博士課程修了。北海道大学大学院歯学研究科助手、テキサス大学ヘルスサイエンスセンターサンアントニオ校客員研究員、北海道大学大学院歯学研究科助教を経て、平成24年4月1日福岡歯科大学准教授に就任。博士(歯学)。北海道出身。

《メッセージ》福岡歯科大学矯正歯科学分野の一員となれましたことに感謝しています。石川教授の指導のもと、名実ともに教室の一員として教室さらには大学に貢献できますように精進してまいります。

平成24年度 福岡歯科大学客員教授・准教授

客員教授	井口 八郎(いのくち はちろう)	長浜バイオ大学・非常勤研究員
	大慈弥 裕之(おおじみ ひろゆき)	福岡大学医学部・教授
	岡田 賢司(おかだ けんじ)	国立病院機構 福岡病院・診療統括部長
	久保 真一(くぼ しんいち)	福岡大学医学部・医学部長
	白日 高歩(しらくさ たかゆき)	医療法人福西会福西会病院・院長
	関口 睦夫(せきぐち むつお)	福岡歯科大学・先端科学研究センター長
	TAKAHASHI MASAYUKI(たかはし まさゆき)	フランス国立科学研究機構ナント大学共同研究所・タンパク機能部門長
	内藤 正俊(ないとう まさとし)	福岡大学・副学長

客員准教授	中山 宏明(なかやま ひろあき)	九州大学・名誉教授
	西間 三馨(にしま さんけい)	福岡女学院看護大学・副学長
	福田 仁一(ふくだ じんいち)	前九州歯科大学・理事長 学長
	水口 清(みなぐち きよし)	東京歯科大学・教授
	宮本 新吾(みやもと しんご)	福岡大学医学部・教授
	山内 三男(やまうち みつお)	ノースキャロライナ大学・教授
	奥田 貫介(おくた かんすけ)	奥田・二子石法律事務所・弁護士
	師井 洋一(もろい よういち)	九州大学大学院医学研究院・准教授

平成24年度 福岡歯科大学臨床教授・准教授

臨床教授	荒川 周幸(あらかわ のりゆき)	あらかわ歯科・矯正歯科クリニック・院長
	石井 香(いしい かおり)	いしいかおり小児歯科・院長
	上田 秀朗(うへだ ひであき)	うへだ歯科医院・院長
	勝俣 辰也(かつまた たつや)	かつまた歯科小児歯科医院・院長
	久芳 陽一(くぼ よういち)	くぼ小児歯科医院・院長
	小柳 進祐(こやなぎ しんすけ)	小柳歯科医院・副院長
	下田 恒久(しもだ つねひさ)	中央歯科・口腔外科クリニック・院長
	住吉 周平(ずみよし しゅうへい)	スミヨシ歯科口腔外科子ども歯科・院長
	添島 正和(そえじま まさかず)	添島歯科クリニック・院長
	田畑 修(たばた おさむ)	田畑歯科医院・院長
	土屋 嘉都彦(つちや かずひこ)	土屋デンタルクリニック
	中 四良(なかしろう)	中歯科医院・院長

臨床准教授	長島 義之(ながしま よしゆき)	長島病院歯科
	中牟田 博敬(なかむた ひろよし)	熊本大学医学部医学科臨床教授
	中村 芳明(なかむら よしあき)	高木病院・歯科口腔外科部長
	橋本 敏昭(はしもと としあき)	はしもと小児歯科医院・院長
	松永 興昌(まつなが たつあき)	松永歯科クリニック審美・インプラントセンター業院・院長
	森 智昌(もり ともよし)	森歯科小児歯科医院・院長
	米津 康一(よねつ こういち)	メディカル・ライフフクオカ
	大森 桂二(おおもり けいじ)	大森歯科医院・院長
	榊 恭範(さかき やすのり)	さかきデンタルオフィス・院長
	白石 和仁(しろいし かずひと)	白石歯科医院・院長
	山田 潤一(やまだ じゆんいち)	福岡天神インプラントクリニック・院長
	吉永 修(よしなが おさむ)	吉永歯科医院・院長

口腔医療センターNEWS

日・祭・休日急患体制の廃止および土曜日診療時間延長のお知らせ

日・祭・休日の急患診療を、平成24年3月末日をもちまして終了させていただきました。

日・祭・休日における急患につきましては、本学医科歯科総合病院(TEL:092-801-0411代表)にご連絡あるいはご来院くださいますようお願いいたします。

これに伴い平成24年4月より、土曜日の診療時間を15:00まで延長し、余裕をもって受診していただけるようになりました。

土曜日:診療時間 **変更前 10:00~13:00 → 変更後 10:00~15:00**



JR博多駅ウォーキングイベントで歯科無料相談を実施しました

3月24日、JR博多駅で開催されたJR九州主催ウォーキングイベントの一環として福岡歯科大学口腔医療センターが歯科無料相談を行いました。



博多駅博多口の駅前広場にブースを設置し、ウォーキング参加者の歯科無料相談のほか、口臭測定器を設置して、お口の健康に関する相談に応じました。

当日は寒い中にもかかわらず、150名を超える方が来場され、たくさんの方から感謝の言葉をいただきました。



共用試験 共用試験(CBT,OSCE)実施

臨床実習前の第4学年96人は平成24年度共用試験として2月28日にCBT(知識・思考力(問題解決能力)を問うコンピュータを使った客観試験)並びに3月4日にOSCE(技能・態度を客観的に評価する臨床能力試験)を受験しました。この共用試験は、診療参加型臨床実習に参加する学生に必要とされる基本的知識と問題解決能力、基本的技能と基本的態度を評価することによって、患者さんの理解と協力のもとで学生にとっても学びの多い臨床実習を行うために全国すべての歯学部で実施されるものです。

登院式 福岡医療短期大学 歯科衛生学科登院式

4月11日、福岡歯科大学本館講堂にて平成24年度福岡医療短期大学歯科衛生学科登院式が執り行われました。同学科3年生92名は、来賓、法人役員、教員、在学生、父兄等が見守る中、名前が呼ばれると緊張した面持ちで一人ひとり壇上に上がり、栢短大学長から戴帽を受けました。いよいよ医科歯科総合病院での臨床実習が開始され、歯科衛生士に向けての実践的な第一歩が始まりました。



臨床研修 歯科医師臨床研修がスタート

4月2日、平成24年度歯科医師臨床研修開始式が執り行われ、56人が辞令を受け研修歯科医として研修を開始しました。研修プログラムは、単独型と複合型があり、医科歯科総合病院のみ、あるいは医科歯科総合病院とその他の協力型臨床研修施設に登録されている歯科医院等において来年3月まで行われます。



父兄後援会 福岡医療短期大学 父兄後援会長改選

4月5日、福岡医療短期大学入学式に引き続いて開催された父兄後援会総会において、歯科衛生学科父兄後援会長に吉川友國氏が、保健福祉学科父兄後援会長に楠田美智子氏がそれぞれ選任されました。



歯科衛生学科父兄後援会長 吉川友國氏



保健福祉学科父兄後援会長 楠田美智子氏

学友会総務 平成24年度 学友会総務委員長決定

任期満了に伴う福岡歯科大学学友会総務委員長の改選が1月23日に行われ、安里啓さんが総投票数473票中455票(96.2%)の信任票を獲得し、平成24年度学友会総務委員長に就任することが決定しました。



コラム 「定心」

奉仕を学ぶ時代

最近、サービスマンという言葉に出会った。奉仕を学ぶということだそう。もともと、奉仕は人のために尽くすという、本来私たちが持っている、思いやり・感謝の気持ちに基づいた行為であり、実生活の中で自然に学んできたものである。それを、今は授

業として教えないといけなのだという。サービスマンが奉仕活動と異なるのは、その主眼が奉仕そのものではなく、奉仕の社会的、倫理的意味を理解する学習であることであろうか。科学の進化は社会の発展に不可欠な要素であるが、社会が拡大する速度に私たちが対応できなくなっているため、人と人の距離は昔に比べ、ずいぶん疎遠に

なってしまったのではないだろうか。そうした環境が、人を意識し、人の気持ちを考え、人を助け、人に助けってもらう日常の行為をできなくしてしまったのではないだろうか。そうだとすれば、家族や社会が行ってきた社会教育が壊れた今、一抹の寂しさはあるが、サービスマンが私たちが社会に受け入れてもらうための必須のものかもしれない。

平成23年度 福岡歯科大学同窓会学術活動報告

岩本 憲明 (2期)

第2回ICOI (International Congress of Oral Implantologists)

ICOI Fellowship 養成コースを開催しました。講師は、本学咬合修復学講座冠橋義歯学分野の佐藤博信教授、有床義歯学分野高橋裕教授、口腔医療センター長の松浦正朗教授、口腔インプラント学分野城戸寛史准教授(現同分野教授)他本学講師にご依頼いたしました。ICOI Fellowship はインプラント専門医に相当する国際的な資格です。ICOI世界大会であるICOI Korea World Congress XXIIIが、10月6日から韓国ソウル市にて開催され、本同窓会主催の平成22年および23年のICOI Fellowship 養成コースから試験の合格者18名が同資格を授与されました。



よる講師陣で構成されたベリックとアドバンスコースです。

また平成23年11月6日、福岡県歯科医師会館において第25回福岡歯科大学同窓会主催学術講演会「インプラント



治療の最前線と歯科治療の法的解釈」を開催しました。講師である若松陽子先生は関西大学法科研究科の教授でありながら、弁護士としてもご活動され、公益社団法人日本口腔インプラント学会に所属するなど多方面で活躍されている方です。近年100年来の民法改正がなされ、契約における説明責任が強化された等のことから、保険診療と自由診療の対応の違いや訴訟に関する対策について具体的事例も含めご講演いただきました。午後は、東京都でご開業の林揚春先生に「患者に優しく患者が望むインプラント治療」についてご講演をいただきました。

同窓会学術委員会は、こういった活動が医療人としての倫理観、教育、探求、研究心、医療技術の向上などより一層の卓越した歯科医師への道しるべになれば幸いと考えております。

卒業生 NOW

修行中

廣松 亮 (32期)



私は平成22年3月に福岡歯科大学を卒業、4月に歯科医師免許を取得後、無事に一年間の臨床研修を修了し、現在は母校の口腔治療学講座・歯周病学分野で、大学院生として日々の生活を送っています。今は修行中の身で(歯科医師である以上は終生研究、終生修行、ではありますが…)、周りの先生や同僚、時には後輩からも、様々な事を学ばせていただいております。私は歯科の分野に飛び込んでから、時々、「幸せ」について考える事があります。どんなにお金を持っている人でも、地位や名声がある人でも、口腔の環境が整っておらず、食事が美味しいと感じる事ができなければ、本当の意味で幸せではないような気がします。人はなぜ生きるのか、こういう類

の問いに関しては人によって様々な答えがあるかもしれませんが、私の中では「生きること=食べること」だと解釈しております。ご飯を美味しく食べるという行為は、日常当然の事のように皆さんの中で行われていますが、どんな人でも例外なく、誰もが求める「究極の幸せ」だとも思えます。未だ、私は満足できる程の知識も技術も備わってはいませんが、皆様に「何気ないようで究極の幸せ」を提供できるように、これからも粘り強く頑張っていきたいと考えております。育ててくれて今でも暖かい目で見守ってくれている家族、日頃アドバイスを下さる大学の先生方や開業医の先生方、お互いに切磋琢磨しながら励まし合える同僚の先生方、私を頼ってきてくれるながらも新しい発見に気付かせてくれる後輩の皆さん、歯科関係以外で精神的に支えてくれる違う業種の方々へ、この場を借りて心より感謝の言葉を申し上げます。



同窓生からの手紙

愛媛県同窓会発足20周年を迎えて

佐々木 誠 (23期)

2月18日、松山全日空ホテルにて福岡歯科大学愛媛県同窓会発足20周年記念式典及び学術講演会が開催されました。記念講演では、福岡歯科大学名誉教授の松本光生先生に「私の歩んだ歯科矯正の道」という演題で講演して頂きました。矯正治療の目標や術式の変遷をお話し頂き、松本先生の40年に渡る経験に裏打ちされた内容でしたので、身が引き締まる思いでした。また不正咬合が歯内の毛細血管の血流量と関係し、歯肉炎と関係するというデータに基づいた内容は矯正歯科をされていない先生方にとっても興味深く感じられたことでありましょう。

松本先生に続きまして、福岡歯科大学15期生の田中勝寛先生から「矯正治療とマルチブラケット」という演題で講演して頂きました。本題に先立ち、田中先生が所属されている青年会議所によるカンボジアでのボランティア映像が流れ、自分の住んでいる地域や国内のみならず海外で

の歯科医療にも取り組まれていることを同窓生として誇りに思うとともに励みになるものでした。本題ではEアーチ、リボンアーチ、エッジワイズ法などで誤りやすいポイントを解りやすく解説して頂きました。

講演終了後の記念祝賀会は、北村憲司福岡歯科大学学長、清水恵太愛媛県歯科医師会会長、宮口巖福岡歯科大学同窓会会長等が列席され盛大に執り行われました。窪田愛媛県同窓会会長御令嬢のピアノ演奏をBGMに和気あいあいとした雰囲気の中で懇親を深める事が出来た素晴らしい会になりました。

これからも日々精進し、後輩を敬い先輩を尊びながら30年40年皆で発展できるよう絆をより深められる同窓会にと頑張りたいと思っていますので今後とも宜しくお願い致します。



一 感謝



粉 泰生 (11期生 / 粉齒科医院 (福岡県福岡市))

なり、医院の建物が老朽化してきたことと、父がこの地に開業して50年が経過したのを機会に、来院される方が安全にかつ円滑に利用することができるようにとの思いから医院を新しくする事になりました。そうした中で家族やスタッフが協力し、患者さんに迷惑をかけながら平成19年に「福岡市福祉のまちづくり条例」に基づいたバリアフリーの歯科医院に建て替えることができました。その時の私には医院が完成するまで様々な思いや出来事があり、日頃から感謝の気持ちが大切であると実感しました。この場を借りましてこれまでお世話になった方々に感謝とお礼を申し上げます。

父の医院をバリアフリー化し 同窓の兄弟と診療中

皆 様こんにちはは、11期生の粉泰生と申します。卒業は平成元年ですから、早いもので23年が経ちます。

私は卒業後、当時の歯科補綴学第2講座、松浦智二教授のご指導のもと大学院にて学位を取得させていただきました。大学院を修了し医員として1年間在籍した後、福岡市南区野間が開業している父の歯科医院に勤務しています。現在では同窓でもある兄弟と共に日々の診療に励んでおります。

高齢化社会を迎えた現在、来院される患者さんも高齢者の割合が年々高く

最後に、現在の歯科界は大変厳しい状況に置かれておりますが、私も歯科の社会的評価を獲得する為にも地域の歯科医療に少しでも貢献し、歯科医師として本当の意味で口腔内の医療を行えるよう日々研鑽を積んで参ります。皆様、今後ともご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願致します。

また、皆様の益々のご活躍とご健康を心よりお祈り申し上げます。



一 開業10年を振り返って

患者さんの声に耳を傾け
信頼関係を築いています

皆

様こんにちはは。私は14期生の岡信之と申します。大学卒業後は本学歯周病学講座で3年程お世話になり開業医の勤務を経て郷里である長崎県大村市で開業いたしました。平成13年4月に開業して11年になりました。平成13年周辺の方々に認知されてきたかなという感じがしています。今考えるとほんとにあつという間の11年だったような気がして時の経つのは早いなとつくづく感じております。開業当時は畑だった診療所の周りも今では宅地造成されすつかり景色が変わってしまいました。

スタッフは私と衛生士2人、受付1人の4人で日々の診療に取り組んでおります。開業して最初の数年はスタッフが思うように動いてくれなかったり辞めていったりということが何回もあり頭を痛めた事もありましたが、幸いなことに同窓生の友人が近くにおり今でもいろいろ相談にのってもらって大変助かっています。



岡 信之 (14期生 / 岡齒科医院 (長崎県大村市))



歯科医師過剰が言われる昨今ですが元来マイペースな私は色んな事に流されることなくやっているのでも時々周りから心配されますが、スタッフに助けてもらいながら何とかやっています。

いつも診療で心掛けていることは患者さんの言っていることまたは伝えようとしている事に耳を傾けそれに対して適切な治療の説明をするということ。そして信頼関係を築きながら治療する事が患者さんの満足に繋がるのではないかと考えています。隣で父と弟が内科を開業しており全身疾患を持った患者さんを依頼されることもあり連携をとりながら治療に当たっています。

現在当地区歯科医師会には11名の同窓会会員がおり市歯科医師会会長の坂口秀平先生、同窓会長長崎県支部会長の俣野正仁先生など活躍されています。私も微力ではありますが今後益々地域医療に貢献できるよう努力していきたいと考えております。

東日本大震災から1年が経ちました。今後こういった災害が無いことを願うばかりです。

最後に皆様のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

FROM STUDENTS 学生からのメッセージ

学べる喜び

安井 由美子 (大学3年)

私は、看護師免許取得後に歯科医師になることを決意し、そこで福岡歯科大学を受験しました。ですから、よく「なぜ?看護師になったのに」と質問を受けます。



看護実習の中で、歯は生きる原動力であるという事を認識させられることがありました。80歳代女性で、誤嚥性肺炎を起こし入院。胃瘻造設、脳梗塞もあり嚥下訓練を受けていました。言語は理解できても、思うように言葉にできない、その歯がゆさが表情に表れていました。その思いを表現してもらう為に、言語ボードを作成、初めに訴えた事が、「ク・チ・タバタイ」でした。訓練食でも食べられるようにしてあげたいと考え、口腔内を清潔に保つための口腔ケアを看護ケアに加えしました。その後、訓練食の許可があり、その患者さんは、また咀嚼できる喜びを感じる事ができました。生き生きとした表情、別人のようでした。また、患者自身の向上心も現れ、意欲的になっていきました。食べるという行為は生きることの原動力になるのだと感じ、私は、より専門的に関わる事で、噛める喜びを取り戻せる患者さんを増やしていきたいと強く思ったのです。

これからは、全身を診ていける歯科医が望まれる時代になると言われていますが、この大学の「医歯一元化」に移行すべきという考え方は日々の授業の中でも感じています。将来、歯科医師として人の健康を預かるということに緊張感も覚えますし、また専門的知識の難しさに焦りを感じる事もありますが、そういう思いも学べる喜びに変えて頑張っています。

オンとオフ、勉強と遊び

松尾 康平 (大学5年)

歯学部は卒業まで6年なので入学当初は長いと感じていましたが、早いものでもう4年が経ちあと2年で卒業です。医歯薬以外の学部であれば4年で卒業になりますが、患者さんと接し命に関わる職業であるため、実習をする2年間が残っています。その区切りとしてのOSCE、CBTがありますが、無事パスすることができました。



この二つのテストの直前には定期試験もあったので、実習の勉強から基礎分野の総復習、実技試験対策まで3ヶ月くらい試験勉強漬けでした。普段から予習復習をする習慣などなかった僕は大いに反省させられました。

だから毎日勉強する習慣がない後輩の皆さん、毎日の授業はしっかり聞きましょう。でも定期試験は1ヶ月前からしっかり準備すれば十分だと思います。そうしたらそのテスト前以外の期間は、放課後や休日を部活や趣味に使うことができます。多くの仲間と飲みに行ったり遊びに行ったりすることでネットワークを広げることが大学生活を楽しむ方法だと思います。

オンとオフの切り替えをしっかりする習慣を学生のうちからつけておきたいと思っています。将来、平日はしっかり働き、休日は趣味を楽しむ。そういう歯科医師を目指しています。そのために5年生から始まる登院実習でもしっかりと自覚を持って、臨床の歯科知識と患者さんへの接し方を学んでいきたいと思っています。

FROM PARENTS 保護者様からのメッセージ

父兄後援会員となって

私は昭和47年に九州歯科大学を卒業しました。今年卒業40周年を迎えます。学生時代は部活のラグビーと酒の毎日を楽しく過ごしました。国家試験も春と秋2回あり、同期生は、春に落ちた数名も秋には合格し、全員歯科医師となりました。今思うと本当に良き時代でした。

福岡歯科大学は、卒業の翌年に開学しました。開学して2年位して、前学長の本田先生のおられる2外科の教室に時々顔を出して、ラグビー部の練習に付き合っ、終われば一緒に酒を飲んでいました。当時の福岡大は、地名のとおり田んぼの中にポツンと立っていました。また、九州歯科大学ラグビーOB会のニュージーランド遠征には、当時学生だった1期生の川崎先生、2期生の原先生が参加され、カナダ遠征の折には、当時幼稚園の年長組だった息子が、バンクーバーで迷子になり2期生の岩本先生に大変お世話になりました。

その息子が福岡歯科大学に入学し、ボクシング部で頑張っていました。4年生からラグビー部にもお世話になっています。なんと6年生になりましたが、卒業試験、国家試験が待ち受けています。部活で養った体力、気力で、この1年間勉強に励み国家試験に合格することを、脛の細くなった親として切に願っています。



稲富 晴彦 様 (父兄後援会評議員)

口腔医学を重視する教育に期待

歯牙の欠損や不正咬合が、整形外科等の領域で全身へ悪影響を及ぼすと言われるようになり、かなりの年月が経ちました。

最近では、歯周病菌が全身疾患を引き起こしたり、憎悪させることも明らかになってきました。循環器科領域においては、歯周病が脳梗塞や心筋梗塞を誘発したり、代謝内科領域においても血糖値を上昇させたり、逆に糖尿病の悪化に伴い歯周病も進行すると言われてます。さらに、歯周病は喫煙とも密接な関係にあり、上記の疾患はもとより、妊婦への悪影響が問題となってきています。もともと、喫煙は早産の原因とされてきましたが、喫煙は歯周病のリスクを高め歯周病そのものが早産のリスクを高めることもわかってきました。

そして、口腔嚥下機能の低下により、誤嚥で高齢者の方が肺炎になられることもよくあるようです。

また、口腔内の色々な歯科材料によって、皮膚科領域の掌蹠膿疱症を引き起こしたりもします。

このようなことから最近では、整形外科はもとより循環器科や、代謝内科、さらに産婦人科や呼吸器科や皮膚科からの御紹介の患者様が増えてきています。大学の方針である口腔医学の知識と考え方が、民間の歯科医師にも、大変重要になってきています。


福岡歯科大学で学ばれている皆様は、口腔医学について研鑽を積まれて、全身疾患についても、充分対応できる歯科医師になって頂ければ幸いです。



中原 孝 様 (父兄後援会理事)


平成25年度 入学試験日程

福岡歯科大学

歯学部								
区分	AO入試Ⅰ期	推薦・指定校推薦入試	一般入試A日程	センター試験利用入試Ⅰ期	一般入試B日程	センター試験利用入試Ⅱ期	AO入試Ⅱ期	学士等編入学試験
募集人員	約30名	約15名	約35名	約4名	約5名	約4名	約3名	若干名
願書受付期間	H.24.8.6(月)～9.7(金)	H.24.10.22(月)～11.9(金)	H.25.1.4(金)～1.31(木)		H.25.1.21(月)～2.20(水)		H.25.2.22(金)～3.13(水)	H.24.10.29(月)～11.29(木)
試験日	H.24.9.9(日)	H.24.11.10(土)	H.25.2.2(土)		H.25.2.21(木)		H.25.3.14(木)	H.24.12.3(月)
合格発表日	1次 H.24.9.11(火) 2次 H.24.10.3(水)	H.24.11.14(水)	H.25.2.6(水)午後5時		H.25.2.22(金)午後5時		H.25.3.15(金)	H.24.12.5(水)
試験会場	福岡歯科大学試験場及び大阪試験場		福岡歯科大学試験場及び東京試験場		福岡歯科大学			
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡歯科大学学務課入試係 TEL.092-801-1885(直通) FAX.092-801-0427(直通) ●ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp ●E-mail gakumu@college.fdcnet.ac.jp ●携帯電話用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/colhp						 ▲携帯電話からのアクセスはこちらから!	

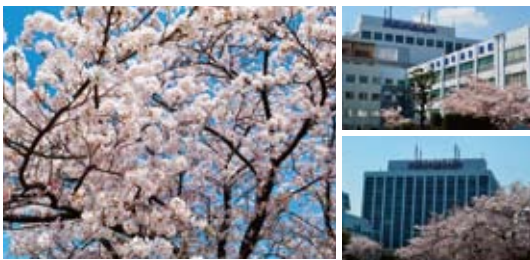
福岡医療短期大学

歯科衛生学科										専攻科・口腔保健衛生学専攻		
区分	指定校推薦入試	公募推薦入試(I)	公募推薦入試(II)	一般入試A日程(社会人含む)	一般入試B日程(社会人含む)	一般入試C日程(社会人含む)	一般入試D日程(社会人含む)	AO入試(社会人含む)	一次募集	二次募集	三次募集	
募集人員	約10名	約10名	約5名	約15名	約5名	若干名	若干名	約35名	約15名	約5名	若干名	
願書受付期間	H.24.10.1(月)～11(木)	H.24.11.1(木)～8(木)	H.24.12.3(月)～6(木)	H.25.1.4(金)～30(水)	H.25.2.1(金)～13(水)	H.25.2.18(月)～3.6(水)	H.25.3.11(月)～25(月)	詳細は入試係までお問い合わせください。	H.24.12.3(月)～6(木)	H.25.1.4(金)～30(水)	H.25.3.11(月)～25(月)	
試験日	H.24.10.13(土)	H.24.11.10(土)	H.24.12.8(土)	H.25.2.1(金)	H.25.2.15(金)	H.25.3.8(金)	H.25.3.27(水)		H.24.12.8(土)	H.25.2.1(金)	H.25.3.27(水)	
合格発表日	H.24.10.19(金)	H.24.11.15(木)	H.24.12.13(木)	H.25.2.7(木)	H.25.2.20(水)	H.25.3.13(水)	H.25.3.28(木)		H.24.12.13(木)	H.25.2.7(木)	H.25.3.28(木)	
試験会場	福岡医療短期大学						福岡医療短期大学					

保健福祉学科								
区分	指定校推薦入試	公募推薦入試(I)	公募推薦入試(II)	一般入試A日程(社会人含む)	一般入試B日程(社会人含む)	一般入試C日程(社会人含む)	一般入試D日程(社会人含む)	AO入試(社会人含む)
募集人員	約10名	約5名	約5名	約5名	若干名	若干名	若干名	約15名
願書受付期間	H.24.10.1(月)～11(木)	H.24.11.1(木)～8(木)	H.24.12.3(月)～6(木)	H.25.1.4(金)～30(水)	H.25.2.1(金)～13(水)	H.25.2.18(月)～3.6(水)	H.25.3.11(月)～25(月)	詳細は入試係までお問い合わせください。
試験日	H.24.10.13(土)	H.24.11.10(土)	H.24.12.8(土)	H.25.2.1(金)	H.25.2.15(金)	H.25.3.8(金)	H.25.3.27(水)	
合格発表日	H.24.10.19(金)	H.24.11.15(木)	H.24.12.13(木)	H.25.2.7(木)	H.25.2.20(水)	H.25.3.13(水)	H.25.3.28(木)	
試験会場	福岡医療短期大学							
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡医療短期大学入試係 TEL.092-801-0439(直通) FAX.092-801-4473 ●ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/ ●E-mail gakumuj@college.fdcnet.ac.jp ●携帯電話用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp						 ▲携帯電話からのアクセスはこちらから!	

キャンパス歳時記

今年も福岡歯科大学に、キレイな桜が咲きました。訪れる方々を鮮やかな桜色がおもてなししてくれました。



編集後記

二歳の息子と『仮面ライダーフォーゼ』を見ている。平成の仮面ライダーたちは設定が奇抜でして、フォーゼの主人公が目標としているのはなんと「学校の全員と友だちになる」です。しかし主人公のまっすぐな生き方を見ているうちに、今ではわたし自身も毎週の放送を楽しみにしています。紙面でお届けした通り4月に多くの新入生を迎えました。今どきの若者は概して他者にも無関心だという声を世間では聞きますが、ところがうちの学生さんたちはとても仲が良く、深い繋がりを築いています。新入生諸君もぜひ「学校の全員と友だちになる」の目標を掲げてその輪の中に入り、そして大学や短大を盛り上げて欲しいと思います。(NT)

オープンキャンパス開催のお知らせ

福岡歯科大学 同窓生を対象としたオープンキャンパスを5月27日(日)に開催

同窓生を対象としたオープンキャンパスを下記の通り開催いたします。当日は本学在職の同窓生との昼食会も企画しております。同窓生の皆さま、ふるってご参加ください。

日時 5月27日(日) 10:00～13:00

場所 福岡歯科大学 集合場所 本館9階901教室

内容 ●施設見学 ●模擬実習 ●本学在職の同窓生および出席教員との昼食会 ●大学概要説明 ●入学試験説明 など

お問合せ 福岡歯科大学 学務課 入試係 TEL 092-801-1885(直通) E-mail gakumu@college.fdcnet.ac.jp

福岡歯科大学・福岡医療短期大学 平成24年度一般向けオープンキャンパス開催

本学への入学希望者をはじめ、そのご家族や高校・予備校の先生方を対象としたオープンキャンパスを右記の日程で開催いたします。各大学の入試係までお問合せのうえ、お気軽にご参加ください。

開催校	実施日
福岡歯科大学	7月29日(日)・8月26日(日)
	5月12日(土)・25日(金)
福岡医療短期大学	6月10日(日)・22日(金)
	7月 6日(金)・20日(金)
	8月 3日(金)・24日(金)
	9月 8日(土)・29日(土)